

事業名	戦没者慰霊費			調書番号	24
細事業名	海外慰霊巡拝・戦没者遺骨収集遺族助成事業費補助金	財務コード	169805		
担当部課室	福祉保健 部	国保援護 課	援護恩給 担当 (内線)	3118	

I 事業の概要

実施期間	始期 S42 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	一般財団法人山梨県遺族会		
目的	だれ(何)を対象に 戦没者の遺族	その対象をどのような状態にして 旧主要戦域等における戦没者の慰霊巡拝事業へ参加	結果、何に結びつけるのか 戦没者の慰霊と遺族の慰藉
内容	<p>厚生労働省主催による海外慰霊巡拝及び国の委託を受けた一般財団法人日本遺族会が実施する戦没者遺児による慰霊友好親善事業に参加する遺族等に対し、一般財団法人山梨県遺族会を通じて旅費等経費の一部を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海外慰霊巡拝(厚生労働省主催) <ul style="list-style-type: none"> ・対象地域 ミャンマー、フィリピン、東部ニューギニア、硫黄島等 ・対象者 戦没者遺族(3親等内) ・参加者 ミャンマー、フィリピン (計4名) ・補助率 1/3以内(上限10万円) ○ 戦没者遺児による慰霊友好親善事業(日本遺族会主催) <ul style="list-style-type: none"> ・対象地域 旧満州、フィリピン、ビスマルク諸島、中国・バシー海峡等 ・対象者 戦没者の遺児 ・参加者 フィリピン(1名) ・補助率 参加者負担金の1/3以内(上限額3万円) <p>参加者は後日感想文を提出し、また遺族会研修会等の中で報告会を実施し、慰霊巡拝の内容を広く周知している。</p>		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	参加希望者の数	目標	24	21.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0
		実績(見込)	4	9.0	4.0	7.0	7.0	8.0	
		達成率	16.7	42.9	23.5	41.2	41.2	47.1	
		達成区分	d	c	d	c	c	c	
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位: 千円		97	315	74	90	342	510	510	

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	c	評価 参加した遺族からは報告書が提出されており、「遺骨も帰ってこない中、遠い異国の地に眠る戦没者への慰霊がやっと叶いうれしかった、二度とこのような思いをすることの無いよう平和を願っている」など、ほとんどの参加者から満足の意見が寄せられており、戦没者の慰霊と遺族の慰藉は十分に行われた。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	参加した遺族からは、戦没者への慰霊ができたことへの感謝、平和への誓いなど報告書が提出され高い評価がされており十分な成果が得られているため。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他		
その他	説明	参加した遺族からは、戦没者への慰霊ができたことへの感謝、平和への誓いなど報告書が提出され高い評価がされており十分な成果が得られているため。		
見直しの必要性	無	本事業については、平成28年度、事業費の額を690千円→510千円にし、見直し済みであるため。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。